

あゆみ学園だより

2025年2月号
福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

2025年がスタートし、1月には通園されているお子さんの次年度の進路も概ね決まり、2月に入ると、いよいよ年度末の閉園に向けてカウントダウンが始まったなという感じが強くなってきました。今までであれば、次年度の保育や行事などの計画を立てて行く時期ですが、今年度は、あゆみ学園閉園に向けた様々な物の整理などを進めています。これまでの行事で使用してきた飾り、職員やボランティアさんの手作りのおもちゃや紙芝居、手作りのクッション、保護者の方にいただいた座位保持装置や車いすなど、思いの詰まったものがたくさんあります。閉園後もできる限り南部療育センターで活用していきたいと思います。

さて、2月には個別面談を実施します。今後の生活や療育につながるお子さんの成長を、保護者の皆さんと共有したいと思います。

2025年の立春は、2月3日だそうです。暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日も多く、寒暖の差が大きい時期です。インフルエンザの流行は過ぎたかもしれませんが、油断は禁物ですね。感染予防にも気を付けて、体調を崩さないように過ごしましょう。

園長 平井 尚史

行事予定

5	水	避難訓練	17	月	個別面談日 (きりん・ぱんだ・ぞう・りす)
12	水	個別面談日(ひよこ)	21	金	月例保護者会 グループ懇談(りす)
13	木	個別面談日(ひよこ)	28	金	歯磨き指導
14	金	個別面談日(うさぎ)			

《お楽しみ会》

早いもので、年度末が近づき、就学・進級が間近になってきました。3月には3～5歳児(ぱんだ・きりん・ぞう・りす)は合同のお楽しみ会を計画しています。子ども達や先生達の出し物もあり、思い出に残るお楽しみ会にしたいと考えております。残り少ないあゆみ学園での思い出を一つ一つ大切にしていきたいですね。

※感染症拡大の状況次第では内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



児童指導員 實松 千晶

～ボランティアさんありがとう～

今年もたくさんのボランティアさんがあゆみ学園で活動されました。制作ボランティアさんは誕生会や光遊びで使用する花紙等を作ってくれました。花壇ボランティアさんは季節の花だけでなく、スイカを植えてくださり、可愛い実がなりました。保育ボランティアさんは保育補助や食事後の託児をしてくださいました。また、10年以上前になりますが、駐輪場の横にドラム缶を設置し、焼き芋を作ってくれる方や、夏祭りにコマを作ってくれる方、美容室にいけない子どもたちのためにヘアカットをしてくれる方等、たくさんの方々があゆみ学園を支えてくれました。

ボランティアさんへ感謝の気持ちとしてお一人、お一人に子どもたちがペイントしたメッセージカードをお渡ししています。閉園まであと少し、地域のボランティアさんへ感謝の気持ちを忘れずに過ごしましょう。

保育士 佐藤 久里子

